未成年飲酒防止啓発運動

都立駒場高等学校執行部による

ティーンズ・フェスタで何かできないかと9月頃から案を練って、この適正飲酒啓発コーナーを行いました。予想を超える120人の方にパッチテストに参加していただきました。

●事前の取り組みで苦労したこと

未成年飲酒防止啓発運動のブースを担当させていただきました、都立駒場高等学校生徒会（執行部）です。ティーンズ・フェスタでは大変お世話になりました。このようなかたちで地域の活動に貢献できたことを嬉しく思うと同時に、こういった機会を用意してくださったティーンズ・フェスタのスタッフの方々に本当に感謝しています。ありがとうございました。

看板の色塗り。

認定証の3段階の名称決め。

認定証誕生秘話

遊び道具や遊園地のアトラクション、距離といった様々な案が出ていたのですが、一番簡単で判りやすい「信号」と「動物」で例えることになりました。

認定証完成！

みんなの意見をまとめて描き上げたラフスケッチの一部を特別公開。

▲アルコール体質をパッチテストによって判定。アルコール耐性がある人は「青信号」で「チーター」の認定証。アルコール耐性がほとんどない人は「黄信号」「しまうま」、アルコール耐性が全くない人は「赤信号」「ぞう」。中面には、飲酒を勧められたときの断り方。裏面には二十歳になったときの心得を紹介しました。

3匹の動物のイラストは、イラストレーターの齊藤木綿子さんに描いていただきました。

受付

▲たくさんの人に来ていただきました。途中、頭が真っ白になってしまい、人数のカウントを忘れてしまうほどでした。

▲説明している途中でお客さんが来てしまい、効率が悪くなってしまいました。でも、アンケートを見ると好評だったので嬉しかったです。

▶みなさんの素直な反応を見ることができて面白かったです。

●事前の取り組みで楽しかったこと

恵比寿ガーデンプレイスにあるサッポロビールさんの本社を見学したこと。

ヱビスビール記念館を見学し、ビールの歴史について詳しく知れたこと。

会社の会議のような雰囲気を経験でき、意見の出し方を学べたこと。

ゴーグルを実際かけて、生徒会室を歩いてみたこと。

▲パッチテストはシール状のフィルムを貼るだけで簡単判定。

適正飲酒啓発コーナー（都立駒場高等学校執行部）：山屋浩輝、清沢一歩、人見順平、植地紀碧、三橋由季、野田菜月、古川莉央奈

夏休み企画　8月講習会・第1日目

雑誌作りガイダンス①　雑誌作りの基礎知識　本の構造を学ぼう!!

雑誌作りガイダンス②　編集のノウハウを学ぼう!!　実践取材体験

前半は、タウン誌を制作するうえで、知っておきたい本の構造や雑誌作りの基礎知識を学びました。後半は、企画の立て方や取材の仕方を学んだ後、実際に取材体験をしました。

また、取材対象者になっていただいたサッポログループマネジメント株式会社の小川克人さんと高橋知美さんが、アルコール耐性のパッチテストを用意してくれていました。

▲一足お先にパッチテストを体験。

▶実践取材体験で、取材対象者になってくれたソーシャルキャピタルネットワーク代表の森本恭平さん。

◀グラフィックデザイナーの竹内亮裕さんとマチナカレッジすみだ準備委員会の小林瑞稀さんとも名刺交換をしました。